

連盟通信 えびめ

[発行所]

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL(089)923-1595

発行責任者 植岡 道玄

平成23年度 愛媛県看護連盟通常総会

と き 平成23年6月19日(日)

10:00~12:00

ところ (社)愛媛看護協会

看護研修センター 2階大研修室

～プログラム～

10:00 開 会

物故会員へ黙祷

あいさつ

来賓祝辞

祝電披露

閉 式

10:30 議長団選出

報告事項

1. 通常総会報告
2. 役員会報告
3. 日本看護連盟関係会議報告
4. ブロック別都道府県会長会議報告
5. 四国地区連絡協議会報告
6. 都道府県別会議報告
7. 活動報告(県・支部・委員会)
8. 平成22年度決算報告
9. 平成22年度監査報告

提出議題

1. 平成23年度スローガン(案)について
2. 平成23年度活動計画(案)について
3. 平成23年度収支予算(案)について
4. 役員改選(案)について

綱領宣言

連盟の歌斉唱

12:00 閉 会

ご 挨拶

会 長 植岡 道玄

東日本大震災の暗いニュースばかりの中に、私たちの看護連盟には感動のニュースが一つ大きな話題となりました。それは宮城県の石巻市に近い120床の地域支援型病院の看護部長さんの新聞記事でした。ご主人やご長男、それに何よりも今年看護師資格に合格された愛娘さんを一度に亡くされた心境は測り知れません。その娘さんの足跡の証として合格証を手向けてやり、自分も生きる糧にという思いを日本看護連盟はいち早く汲み取りました。

国会審議の質疑の中で阿部俊子議員は時間を割いて細川厚労大臣とのやり取りの中で、国の規定上できない免許状の交付を涙の押しで大臣を動かしました。このことは異例中の異例で誰にでもできることではなく、今後の逸話にもなるでしょう。

高階恵美子議員も被災地を故郷に持ちながら、国会議員の医療班を立ち上げ専門職として活躍し重責を担っておられます。災害支援ナースの方も現地で頑張っています。みんなで支援をしましょう。



たかがい恵美子の活動報告

宮城県の被災地へ



3月26、27日に血圧計、聴診器、体温計などの必要器材を詰め込んだ訪問バックと医薬品、衛生材料、衣類などの支援物資を携えて、宮城県沿岸地域の被災地に入り、病院、訪問看護ステーション、県庁、避難所などを訪問するとともに、被災地の山元町長などからお話を伺いました。

避難所においては避難者の健康相談などを行いました。乳幼児を抱えている家族は、大勢の人がいる避難所では夜泣きなどで迷惑をかけてはいけないと気が休まらないとのこと。高齢者は血圧を測ってみるとおおむね平常より高め。最初は皆一様に遠慮がちでしたが、「みんなが被災しているのですから、周りに助けを求めてよいのですよ。」と声をかけながら健康相談をしているうちに、体調変化や睡眠障害、気分の変化、親戚の安否などを話してくださいました。避難所の生活に相当なストレスを抱えている状態にあり、一日も早く安らげる環境の提供を急がなければなりません。



病院のスタッフは、家族を失いながらも交代要員もいないまま休みなく働き続け、疲労困憊状態で気力だけで何とか自分を支えているような状態。訪問看護ステーションも同様に医薬品・衛生材料の物資不足に加え、スタッフは不眠不休で業務にあたり、看護職・介護職が必要とされています。県庁の障害福祉部、保健衛生部の職員から、障害者、高齢者等の支援に関して、マンパワーの不足、衛生資材等の物資の不足、移動のための車・ガソリンの不足の問題により十分な福祉サービスが提供できずにいること、県議会議員からは、学校再開にあたって



の問題や漁業、農業、畜産業あらゆる産業が壊滅的な状況であることなど、現在の状況と今後の支援要請についてお伺いしました。食料・飲料など命をつなぐ物資はもちろんですが、暮らしに必要な衣類の他、長靴、洗剤、掃除用具などの物資も不足しています。更には、生鮮食料も不足しています。特に自宅で避難されている方は物資の調達などに苦勞されており、高齢者は出かけることも困難でひきこもっている状況にあり、このような弱者にも物資が行き渡るような仕組みが必要です。

一瞬にして人の命も平穏な暮らしも何もかも奪っていった津波の被害により、一面のがれきと化した街は言葉で語ることはできないほど凄惨な光景が広がっていました。自然の脅威の前に人はなすすべもありませんでしたが、復旧・復興は人の手を通して成し遂げられるものです。被災地の復旧・復興のために、決してあきらめず、投げ出さず、政治家として、看護師として自分のできることを精一杯尽くさなければならないと決意を新たにいたしました。

あべ俊子国政活動ニュース

いのち・くらし
いちばん!!

あべ俊子

東日本巨大地震 **がんばろう日本!**
国民運動的取り組みで救援復旧を急げ

さる、3月11日、わが国の観測史上、最悪の自然災害が発生しました。マグニチュード9.0の大震災は、岩手県から宮城県、福島県を直撃し、沿岸地帯は街ごと、津波にさらわれていきました。

今般の震災での被害者は、死者7千人超、行方不明者も含め、2万人を超え、今、なお39万人の方が不自由な避難所での生活を続けていらっしゃいます。

このような国家の非常事態を乗り越えるにあたり、もっとも重要なことは、情報の共有と連携です。

わが党は、政府与党と情報交換をし、政府が足らざるところをわが党が補う、という方針で、被災者対策に協力してまいりました。

〈自由民主党災害対策本部〉事務局次長

震災から1週間が経ちました。

この間、私は、自由民主党「巨大地震緊急対策本部」の事務局次長として、また、対策本部に設置された複数のチーム（「物資」、「義援金」、「原子力発電所」、「ボランティア」、「医療」）のうちの「医療班」のメンバーとして、活動してまいりました。

被災地からは、「水がない」、「食べ物がない」、という悲痛な叫びが次々と届き、病院の医師たちからも、「ひとつのおにぎりを3人で分けて食べた」など、ライフラインも途絶えた真っ暗な病院の中で、不眠不休で働いてくださいました。その方々の声に応えるべく、「医療班」は、病院間での医薬品の融通や、生活物資の搬送などを担当し、私も個人のネットワークを駆使し、知り合いに電話やメールで情報提供をよびかけました。

震災が起きた日は金曜日の午後でした。翌日には、土日を迎えてしまったこと、未曾有の被害の甚大さに、初期対応は必ずしも万全ではありませんでした。

この3連休も、対策本部に詰め、1日2回事務局会議で情報を共有し、各チーム（物資、寄付金、原発、ボランティア、医療）ごとに精一杯の活動を続けました。それでも、甚大な被害への対応は追いつかず、長期間の避難所生活や、物資や人も足りなくなった

病院で、いったん救われた命が、今なお、次々と失われていることが無念でなりません。

〈必ずや復興を!〉

昨日より、少しずつ物流がまわりはじめ、状況は少しずつ改善の兆しも見えてつあります。この未曾有の惨事から立ち直るため、引き続き全力を尽くしてまいります。必ず復興します!

最近の主な出来事

3/1(火)~3日(木)

新潟県立看護大学インターンシップ受入れ

3/4(金) 厚生労働部会・看護問題小委員会合同会

「穏やかな最期を保障するコミュニティづくりのための政策推進について」中間報告案報告

3/5(土) 和歌山県看護連盟で講演

『看護問題小委員会の動向について』

大阪府看護連盟で講演

『看護職の労働環境、処遇改善に向けて』

岡山県津山市看護研修会

3/8(火) 衆議院厚生労働委員会で質疑

「世代会計」等について

3/9(火) 衆議院厚生労働委員会

「平成23年度子ども手当法」採決

3/10(木) 自民党国際局次長在日中大使との意見交換

自民党「若者希望プロジェクト」初会合

3/12(土)~

自民党「東日本巨大地震・津波緊急災害対策本部」事務局次長「医療班」として被災者支援活動

3/17(木) 日本看護連盟中央役員会で被災対策報告

日本看護協会と被災対策情報交換

日本訪問看護振興財団と被災対策情報交換

3/21(月) 三重県看護連盟研修会

3/22(火) 日本看護協会「災害支援ナース」派遣見送り

3/23(水) 自民党消防議員連盟緊急集会

「東日本巨大地震について」

3/25(金) 衆議院文部科学委員会参考人に対する質疑

「少人数学級標準法改正について」

衆議院厚生労働委員会で質疑

「東北関東大震災について」

3/29(火) 衆議院本会議 ① 両院議員総会設置

衆議院本会議 ② 両院議員総会報告

3/30(水) 衆議院文部科学委員会

平成23年度 愛媛県看護連盟活動計画(案)

重点目標 「組織活動を充実させる」

スローガン 「ベッドサイドから政治を変える！」

- 重点活動**
- ① 確かな政策実現力 看護現場の声を理解する議員を増やし、希望する政策を実現させる力
 - ② 強力な集票能力 現役140万人の看護職に見合った集票力
 - ③ 多くの人材提供力 選挙できる人材を多数抱える力

日 本 看 護 連 盟		愛 媛 県 看 護 連 盟
区 分	目 標	内 容・目 標 等
確 かな 政 策 実 現 力	政治力の強化 1. 看護政策に関する議論を活発に行える状況（環境）をつくる 2. 看護職国会議員を増やす 3. 国会への影響力を強める	<ul style="list-style-type: none"> ・アンフィニ、ウィークリー、メールマガジンの活用 ・「現場の声」を収集し国会・地方議員に積極的に伝える ・看護を支援する国会・地方議員・地域住民との日常関係を強化する ・第23回参議院議員選挙に向けた活動を行う ・25万票以上獲得するための活動方針の周知徹底 ・国会議員との勉強会を実施する
	多くの人材提供力 4. 地方議会への影響力を強める 5. 中長期的視点に立ち議員候補者を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ・地方議員支援体制を強化する
組 織 の 強 化・ 拡 大	強力な集票力を持つ組織 1. 都道府県の主体的活動の促進 2. 支部組織の充実 3. 看護管理者の意識を高める 4. 若手会員の育成 5. 看護連盟の理解者を増やす 6. 組織のあり方の検討 7. 学生会員の獲得と育成	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県・支部の獲得票を明確にする（全国獲得目標 25万票） ・都道府県・支部ごとの戦略立案と実施（愛媛県目標 6,000票） ・確実な目標管理（都道府県支部別会議） ・リーダーの自主性促進を図る（リーダーセミナーの開催） ・支部の活動内容の明確化（都道府県支部別会議） ・支部役員・リーダーの数の充実と意識強化 ・看護管理者トップセミナー（看護部長ワークショップ）の開催 ・ポリナビワークショップの開催 ・学生会員の獲得と育成
	自覚に基づき活動する会員を増やす 1. リーダーの養成 2. 各級選挙に積極的に参加する 3. 研修の体系化	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修 ・続・基礎研修 ・リーダー研修（リーダーの自主性促進のためのセミナー） ・新人支部長研修 ・看護教育者セミナー、看護管理者セミナー ・若手会員・一般会員・OB懇談会等
	活発な情報流通 1. 会員の声を政策提言に活用する 2. 会員・非会員に対する広報活動を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・研修後の「現場の声」記載を徹底 ・連盟通信えひめ、支部だよりの発行 ・ホームページの内容の充実や的確な更新 ・国政における看護職議員の活動報告
組 織 の 適 正 な 運 営 管 理	1. 施設・支部・都道府県・本部・協会の一連した組織活動を推進する 2. 事務局の運営を適正に行う	<ul style="list-style-type: none"> ・本部総会への出席 ・全国会長会への出席 ・県総会開催 ・県役員会、支部役員会、リーダー会の開催 ・支部別会議の開催 ・連盟役員の協会理事就任 ・月次報告書提出 ・収支報告書作成 ・全国共通収支管理システム、会員管理システムの活用
会 員 の 福 祉	1. 慶弔への対応 2. 諸問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・規約に基づき対応する（災害見舞、物故者への弔意、受章（表彰）者へのお祝い、その他） ・団体傷害保険加入 ・連盟本部への連絡 専門家と相談のうえ、速やかに問題解決する

平成23年度予算(案)

収入の部

科 目	23年度予算(案)	備 考	22年度予算額	22年度決算額
会 費(正)	15,900,000	正会員5,300名	16,500,000	15,843,000
(賛助)	50,000	賛助会員50口	50,000	19,000
助 成 金	14,000,000	※	14,000,000	14,726,610
預 金 利 子	20,000	銀行預金利子	30,000	18,935
前年度繰越金	23,394,272		22,162,945	22,162,945
総 計	53,364,272		52,742,945	52,770,490

※内訳 活動費助成金 研修助成金 事務局運営助成金 会員管理助成金
会費還元金 支部運営助成金 会議・研修会等出席交通費

支出の部

科 目	23年度予算(案)	備 考	22年度予算	22年度決算
会 議 諸 費	10,000,000		10,000,000	5,560,583
総 会 費	1,000,000	年1回開催	1,000,000	717,594
役 員 会 費	5,000,000	県、支部役員会	5,000,000	3,267,964
委 員 会 費	4,000,000	リーダー会 若手会	4,000,000	1,575,025
事 業 費	28,000,000		27,000,000	14,202,389
広 報 費	2,000,000	「連盟通信えひめ」発行費	3,000,000	858,448
組 織 対 策 費	16,000,000	活動費 会議、研修会等出席旅費	15,000,000	9,571,579
教 育 費	5,000,000	研修会講師料 会場費等	5,000,000	879,721
渉 外 費	2,000,000	慶弔費 その他	1,000,000	292,641
支 部 助 成 金	3,000,000	支部活動助成金	3,000,000	2,600,000
運 営 維 持 費	12,500,000		14,500,000	9,613,246
人 件 費	8,000,000	事務職員給料手当て	11,000,000	7,308,000
光 熱 水 費	500,000	電気水道使用量	500,000	500,000
備品・消耗品費	1,000,000	事務用品	1,000,000	451,517
事 務 所 費	3,000,000	事務所賃借料 通信費 手数料等	2,000,000	1,353,729
予 備 費	2,864,272		1,242,945	(次年度繰越金) 23,394,272
総 計	53,364,272		52,742,945	52,770,490

平成23年度 日本看護連盟通常総会

日 時 平成23年6月14日(火) 13:00 ~ 16:30

会 場 東京プリンスホテル2階「鳳凰の間」

平成23年度 日本看護連盟通常総会代議員名簿

No.	氏 名	施 設 名	役 職
1	安 藤 静 子	自 宅	愛媛県看護連盟副会長（西条支部長）
2	神 尾 由美子	自 宅	愛媛県看護連盟副会長
3	有 請 千代美	自 宅	愛媛県看護連盟幹事長
4	吉 田 昭 枝	済生会今治病院	愛媛県看護連盟今治支部長
5	八 木 やよい	十全総合病院	新居浜支部長
6	齊 藤 由美子	住友別子病院	新居浜支部幹事長
7	大 仲 道 子	済生会西条病院	西条支部幹事長
8	鈴 木 ルリ子	自 宅	中予第一支部長
9	樋 口 すみ江	自 宅	中予第七支部幹事長
10	大 政 信 子	松山市民病院	中予第二支部長
11	永 江 隆	道後ベテルホーム	中予第三支部長
12	卷 田 すみ子	和ホスピタル	中予第四支部長
13	政 岡 千 種	自 宅	中予第五支部長
14	竹 田 喜久恵	松山赤十字病院	中予第六支部長
15	山 内 晴 美	松山看護専門学校	看護教育支部長
16	内 舂 眞知子	自 宅	南予第一支部長
17	福 本 節 子	自 宅	南予第一支部幹事長
18	鈴 木 文 江	自 宅	南予第二支部長
19	大 本 加代子	帝京第五高等学校	南予第二支部幹事長
20	村 上 かなえ	自 宅	南予第三支部長
21	鋪 村 加代子	愛媛県赤十字血液センター	愛媛県看護連盟監事
22	竹 田 いよ子	吉田病院	愛媛県看護連盟監事
23	西 岡 愛 弓	南高井病院	愛媛県看護連盟中予第七支部長
24	楠 多佳子	自 宅	南予第二支部幹事

一般参加者

No.	氏 名	施 設 名	No.	氏 名	施 設 名
1	正 岡 美 恵	済生会今治病院	6	柳 生 美賀子	松山城東病院
2	土 居 竹 美	自 宅	7	白 石 洋 子	松山赤十字病院
3	松 本 久美子	済生会松山病院	8	佐 伯 幸 子	河原医療大学校
4	川久保 亜 紀	松山ベテル病院	9	浅 野 実 香	宇和島社会保険介護老人保健施設パール荘
5	山 本 千恵美	北条病院	10	宮 内 美保子	市立宇和島病院

平成23年度 看護管理者研修会

北条病院 山本千恵美



永池京子先生

4月23日、看護協会との共催で前日本看護協会常任理事永池京子先生をお招きし、施設で働く管理者を対象に165名の参加者を得ました。テーマは「看護の社会的意義と職業の発展～キャリアの満足と貢献～」で行われました。

ナイチンゲールが近代看護を創設して以来、戦後日本において看護が専門職としての第一歩を迎えることとなりました。看護の歴史を改めて振り返ることができ、私は多くの先人たちの努力と看護への情熱が、現代の看護を作り上げているのだと再認識できました。歴史を学ぶことは、看護の未来を考えることに繋がります。

私たち看護師一人一人は看護の社会的意義を十分に理解しています。個人はそれぞれにキャリアを積み、目の前の患者様のために努力を惜しみません。けれども、地域・社会に対して、看護が重要な職業として存在意義を獲得するためには、政治の力が必要です。看護連盟の活動は看護師の社会的意義を向上させ、看護師が専門職業人としての使命を果たすことで、いきいきと満足のいく人生を歩むことができるために必要なのです。

私はまず現場の意見をよく聞き、問題や要望を見える形で届けようと強く感じました。考えるだけでは何も変わりません。とにかく、自分にできることから行動していきましょう。看護の未来のために…。



平成22年度 支部役員徹底研修に参加して

村上記念病院 佐藤 福美

平成23年2月19日にJNAホールで実施された支部役員徹底研修に参加させて頂きました。もっとも印象に残ったのは、高階恵美子参議院議員の活動報告でした。看護連盟のメルマガ等により活動の一部は目に致しますが、ご本人からの詳細な、かつ感情がこもった内容は、なかなか耳にすることができません。高階議員の活動の実際を伺い、改めて、我々の代表が高階さんでよかったと思いました。私の隣は茨城と三重の支部長で、ロールプレイングをするに当たり、少々緊張しましたが、他県の支部長と交流する中で看護連盟について学びを深めることができ、支部役員徹底研修の必要性を感じた研修でした。

また、愛媛の支部長や役員の看護連盟に関する理解度の深さを実感した研修でもありました。徹底研修に参加させて頂けたことに感謝致します。

看護連盟 南予地区研修会に参加して

宇和島社会保険病院 見谷 史絵



山本文子先生

私は、小学5年生と2年生、2歳になる3人の娘がいます。毎日仕事と育児に追われ、忙しい毎日を送っています。心に余裕もなく、自分の都合や感情だけで子供たちを叱ったりする事が多いなど感じる中、子育ての話聞いて、自分の子育てを見つめ直したいと思い研修会に参加しました。

助産師をしながら各地で子供たちや親御さんたちに性教育の講演会を行っている山本先生の実際の経験談や感想を聞き、いのちの重みや大切さ、いのちを守る事の大事さを改めて感じる事ができました。そして、お腹を痛めて生んだ3人の娘たちは、私のもとに選ばれて生まれてきてくれたいのち。一生守っていかねばならないなと思いました。涙と笑いありのあつという間の講演でした。また機会があれば是非参加したいです。

家に帰って3人の娘たちを順番にギュッと抱きしめてあげたら、ちょっぴり照れながら喜んでいました。

ちよっとい話

春風に誘われて 野に里に

医療法人団伸会奥島病院

看護部長 向井 五月

当院は昭和29年、道後公園から徒歩5分の場所に開院されました。毎年桜の開花時期になると患者さんも職員も何となく浮足立つのは、桜の名所だからでしょうか。この時期に行われた職員及び患者さん向け行事をご紹介します。

職員は、4月3日に松野町で開催された第22回「まつの桃源郷マラソン大会」に参加しました。職員8名が10キロマラソンに挑戦、



全員完走しました。3歳から64歳まで20名あまりは3キロウォーキングに参加。満開の桜の下、楽しい1日を過ごしました。昼食の豚汁とおにぎりがとても美味しかったそうです。参加費、交通手段の手配、揃いのユニホームなど、すべて病院負担で支援していただきました。

また、4月9日には病院玄関ロビーを使って松山マンドリンクラブの皆さまによるミニコンサートを実施



しました。これまで療養病棟の食堂を使って催しを行っていましたが、今回より多くの患者さんに聴いていただきたく玄関ロビーで実施しました。高齢の方に喜んでいただけるような楽曲を選んでいただき、患者さんは体でリズムをとったり、アンコールをしたり楽しんでいただけたようです。

お願い

平成23年度愛媛県看護連盟通常総会委任状の提出について

総会は愛媛県看護連盟規約第22条により、会員の半数の出席により成立いたします。やむを得ない事情で総会に出席できない方は、委任状に必要事項を記入の上施設でとりまとめ6月8日(水)までに連盟事務局あてご提出ください。

看護連盟入会のご案内

看護連盟の目的

看護協会の目的達成のために必要な政治活動を行い、あわせて国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。

看護連盟の活動

看護職の政治力強化に関する活動
看護職組織代表の国政進出と支援に関する活動

年会費

8,000円
(内訳 日本看護連盟：5,000円 愛媛県看護連盟：3,000円)

一人の会員が連盟を知らない一人を誘って会員の輪をひろげ、
明るく楽しい活動をすすみましょう



編集 後記

東日本大震災の被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。
この時期は看護週間・看護の日の記念行事があり、又、日本看護協会・日本看護連盟の通常総会等、看護に関する様々な行事が続きます。

6月19日(日)は愛媛看護連盟通常総会が開催されます。たくさんのご参加をお待ちしております。

広報委員一同